

船橋に備え置いてください!

名古屋港の地域的情報（参考）

1. 名古屋港の気象・海象の特性

- ・南と北西の風の影響を受けやすい。
- ・特に台風が紀伊半島に上陸する場合には、注意が必要です。

2. 名古屋港の走錨注意情報発出基準

名古屋港高潮防波堤中央堤東端において、風速12m/s以上の風が継続している場合。

3. 名古屋港の港外避難等に関する勧告基準

(1) 避難準備勧告

発出時期: 台風の強風域(風速15m/s以上)が名古屋港にかかる6時間前。

ただし、夜間の場合は日没6時間前。

勧告内容: 在泊船(小型船等を除く)は荒天準備となし、運航できるよう準備すること。

小型船等は河川運河等の安全な場所に避難するため準備すること。

設備を備える船舶は、次の事項を遵守すること。

- ・国際VHF16chを常時聴取すること。
- ・レーダー等により自船の錨泊位置を監視すること。
- ・台風情報、気象海象状況に留意すること。等

(2) 避難勧告

発出時期: 台風の暴風域(風速25m/s以上)が名古屋港にかかる可能性があるとき、強風域がかかる3時間前。

ただし、夜間の場合は日没3時間前。

勧告内容: 総トン数1,000トン以上の船舶は、速やかに港外に退避すること。

小型船等は、河川運河等の安全な場所に避難又は陸揚げすること。

設備を備える船舶は、次の事項を遵守すること。

- ・国際VHF16chを常時聴取すること。
- ・走錨防止のため、レーダー等で自船の位置を連続監視すること。
- ・機関はスタンバイ状態とし、直ちに運航できる体制を保持すること。
- ・最新の台風情報、気象海象状況及びその突然の変化にさらに注意すること。等

4. 名古屋港海上交通センターによる走錨監視及び情報提供

「走錨注意情報」をAIS及びVHFにより提供します。

また、AIS搭載船の位置を監視し、走錨している可能性がある船舶に、VHFにより情報提供を実施しているほか、重要施設(L1栈橋、L2栈橋等)の近くに錨泊しているAIS搭載船に対しては、AISメッセージ等により情報提供を実施します。

緊急連絡先

○名古屋海上保安部／名古屋港長:(電話)052-661-1615

○名古屋港海上交通センター:(電話)052-398-0712

(VHF)16ch又は13ch「なごやハーバーレーダー」

○海上保安庁:(電話)118番、(VHF)16ch又は12ch「なごやほあん」



最寄りの海上保安部署や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。